

第3回福岡県地球温暖化対策実行計画専門委員会 議事要旨

1 開催日時等

- (1) 日時：令和8年8月5日（水）14時30分～17時00分
- (2) 場所：福岡県中小企業振興センター 202会議室

2 議事

- (1) 第2回専門委員会における委員質問等に対する補足説明
～温室効果ガス排出量から見た福岡県の特色～
- (2) 福岡県気候変動適応推進協議会からの意見聴取の結果について
- (3) 次期「気候変動適応計画（国計画）」の骨子（案）について
- (4) 温室効果ガス排出量の推計結果の見直しについて
- (5) 次期「福岡県地球温暖化対策実行計画」の骨子（案）について
- (6) 次回委員会の開催について

3 主な意見等

○議事1

【渡辺委員】

- ・資料1 P15「加えてEC（電子商取引）市場の急成長に伴う物流需要の拡大が、『営業用車』からの排出量増加の要因となっているものと推察される」とあるが、電子商取引による配送は軽貨物車ではないか。

【事務局】

- ・軽貨物車には家庭用も含まれており、営業所から家庭への配送は軽貨物車が使用されているが、最近では電気自動車の軽貨物車も増えているため、それほど温室効果ガス排出量は増えていない。長距離での輸送はトラックが使用されており、トラックは営業用車にカウントされているため、温室効果ガス排出量は増加している。

【本田委員】

- ・資料1 P19の原料利用、原料転換について、廃タイヤを熱源として利用した際に発生するCO₂はカウントされないのか。

【事務局】

- ・次期計画からカウントすることとしている。廃棄物をただ燃やしていたところが熱エネルギーとして利用できるため、エネルギー使用量が減ると考えている。

○議事2

【渡辺委員】

- ・河川の水温上昇が影響を受けている水生昆虫として、蜉蝣があげられる。昔は平地でも見られたが、今は溪谷、山でしか見られなくなっている。その原因の一つとして、都市河川の水温の上昇により蜉蝣が生息できなくなっているのではないかとされている。

【酒井委員】

- ・ 資料 2 P7「治水・利水・環境の関係性そのものを見直し、新たなバランスや連携のあり方を構築する必要がある」とあるが、新たなバランスとはなにか。

【事務局】

- ・ まだ具体的な検討をしていないが、気候変動適応推進協議会において、治水の確保は重要であるが、河川環境の保全とどのように両立させるか、新たな枠組みの構築に取り組んでいくことが重要であるという意見をいただいた。

【渡辺委員】

- ・ 河川の研究者は地下水位の低下を懸念している。河川の水位上昇は都市部において顕著に現れている。地下水位が下がることによって伏流水が減少している。地下水の涵養の問題は水循環の問題にも繋がっている。環境だけを良くしようというバランスの取り方は難しい。

○議事 3

- ・ 意見なし

○議事 4

【本田委員】

- ・ 家庭部門の二酸化炭素排出量について、人口相関係数と世帯相関係数はどちらが高いのか。相関係数が高いほうに統一して表記するほうが良いのではないか。

【事務局】

- ・ 次回委員会までに整理する。

○議事 5

【本田委員】

- ・ 資料 5-1 P27 の表について、2040 年度までに CCUS の制度化、難削減分野の革新技術導入とあるが、2050 年度までと表現すべきである。
- ・ 全体的なことであるが、「カーボンニュートラル」なのか「ネット・ゼロ」なのか、表現を統一したほうが良い。

【浅野委員長】

- ・ CCUS の制度化は環境省でも議論が進んでおり、おそらく 2035 年頃までに制度はできるため、記載の仕方を見直すように。

【渡辺委員】

- ・ 資料 5-1 P30 の重点的に扱う影響について、「自然災害分野では、洪水、内水氾濫、土砂災害、高潮等に対し、流域治水やグリーンインフラ等を活用する」とあるが、流域治水はグリーンインフラに含まれるため、表現を変えた

ほうが良い。

【事務局】

- ・ いただいたご意見を踏まえて、検討したい。

【林委員】

- ・ 資料 5-1 P30 の重点的に扱う影響について、デマンドレスポンスの推進等を入れたほうが良い。
- ・ 資料 5-2 P24 の森林の吸収量について昔に比べてかなり減少している。森づくりによって吸収量を増やすことについて、記載したほうが良い。
- ・ 資料 5-2 R47 の表について、県民の取組に公共交通機関の利用促進が記載されているが、都市部でも交通空白が生まれているところがあるため、県民だけではなく、県の政策でも取り組む必要がある。

【事務局】

- ・ 緩和策に関することであるため、資料 5-1 P15 の再生可能エネルギーの導入拡大・利用促進のところに記載を検討したい。
- ・ 資料 5-2 P36 に森林の保全について記載をしている。また、P38 以降の地域特性において、特に筑豊、筑後は吸収源の対策が必要であるため、記載をしている。
- ・ 資料 5-2 P33 (3) 脱炭素型の都市・地域づくりの推進にも「公共交通、自転車、徒歩利用を促す都市づくりの促進」と記載があるため、記載を工夫したい。

【浅野委員長】

- ・ 資料 5-2 P3 の表 1-2 は国の政策動向である。そのことがわかるように記載するように。

4 その他

- ・ 次回委員会は 10 月頃の開催を予定。